

# 桜蔭 中学校

所在地 / 〒113-0033 文京区本郷1-5-25  
TEL / 03-3811-0147

学校長 / 齊藤 由紀子

創立 / 1924年、桜蔭会(現お茶の水女子大学同窓会)により設立された桜蔭女学校が前身。  
1947年に中学校、翌年高等学校を開校。

URL / www.oin.ed.jp

	1年	2年	3年
男子	—	—	—
女子	240名	235名	235名
クラス数	5組	5組	5組

中高総生徒数 / 1387名



〈交通アクセス〉

JR「水道橋」駅より徒歩7分 都営三田線「水道橋」駅より徒歩5分 東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目駅」より徒歩8分 都営大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩9分

## 東大合格者数は女子校でトップ。高い知性と人格を育てる名門

「東大にいちばん近い女子校」といわれ、男子トップクラスの進学校にも引けをとらない大学合格実績を誇っています。同時に創立以来の伝統として、学力の養成だけでなく、人間教育にも注力。「勤勉・温雅・聡明であれ」「責任を重んじ、礼儀を厚くし、よき社会人であれ」を校訓に、高い知性と人格を兼ね備えた女性の育成に取り組んでいます。また、建学の精神である「礼と学び」も大切に受け継いでおり、礼法の授業は必修です。生徒は全般的に理系志向が強く、ほかの女子校とは異なる独特の趣があります。

## スクールライフ

### ●教育内容

授業の進度は速く、独自の副教材などを活用した質の高い内容です。英語は、中1ではクラスを分割して外国人講師と日本人教員が2名で授業を実施。中2ではオンライン英会話を、中3では外国人講師による少人数制のティーチングと、LLの授業を行います。数学は中高一貫校用教材を使用。国語は中2から古典文法の学習を始め、中3の終わりまでに修了します。また、全学年に礼法の授業を設け、場面に合ったお辞儀の仕方やお茶の出し方などを学ぶのもポイントです。さらに中2は、6月から11月の毎週土曜日にひばりが丘グラウンドで体育を行うほか、夏休みには学校の温

### ■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	4	4	5	3	4
2年	4.5	5	5	4	4
3年	5	5	4	4	3
合計	13.5	14	14	11	11

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限

※土曜日は4時限

◎登校時間：8時20分(週1回朝礼の日は8時5分)

## マネーガイド

### ■2023年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	380,000円	0円	0円	0円	380,000円
初年度総額	380,000円	447,600円	96,000円	122,500円	1,046,100円

※その他には校服代、端末購入費は含まない

水プール(現在建て替え中。2023年秋に竣工予定)で水泳に励みます。一方、中3の自由研究も特色の1つ。生徒は中2の3学期から各自テーマを決めて調査研究し、夏休み明けに提出します。こちらは卒業論文並みの本格的な研究で、全作品を校内に展示するほか、クラス内、中2生や保護者に向けての発表会も行います。

### ●部活動

文化部24、運動部9。全員参加のもとに中高合同で活動しています。運動部は、週1回だけ活動するⅠと、本格的に活動するⅡに分かれています。

○文化系/天文気象、生物、物理、化学、数学、新聞、文学、かるた、社会科、演劇、英語劇、英会話、放送、管弦楽、合唱、軽音楽、料理、手芸、美術、書道、花道、茶道、ボランティア、写真

○体育系/バレーボールⅠ・Ⅱ、バスケットボールⅠ・Ⅱ、卓球Ⅰ・Ⅱ、水泳、リズム水泳、ダンス

### ●行事

5月の体育大会は6学年縦割りのチームに分かれ、クラス対抗で競技します。9月の文化祭では各クラブ・同好会・有志の研究成果を発表します。

### ●修学旅行・研修旅行

中1の夏休みの浅間山荘合宿は、自然に親しむことを目的に行われます。修学旅行は中3で東北方面を、高2で奈良・京都を巡ります。

◎寄付金：1口10万円、2口以上(任意)

◎授業料：分納

◎奨学金・特待生制度：なし

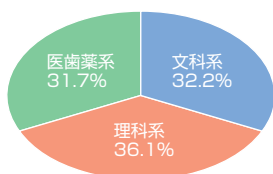


サピックスからの  
合格実績(過去3年) '21 160名 '22 187名 '23 197名

## 進学指導の概要

文系、理系のクラス分けはありません。高2から選択科目制を採用し、高2で週5~6時間、高3で週13~19時間の選択科目を履修します。また、英・数の一部は高2より、難度と進度によってクラスを分割した少人数習熟度別授業を行います。夏休みには高3の希望者を対象に、主要5教科について受験講習

### ■現役大学進学者の進路の内訳



を開き、難関大学合格に向けた実戦力を養います。例年、多くの生徒が東大をはじめとする難関国立大、難関私立大に進学しており、現役合格率が7割を超

えるなど、揺るぎない実績を残しています。「理数の桜蔭」といわれるほど理数系学部にも強く、なかでも医歯薬系学部に進学する生徒の多さが目立っています。

### ■併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	北海道大	東北大	東京大						京都市大	一橋大	東京工業大	東京芸大	東京医科歯科大	東京外国語大	お茶の水大	千葉大	筑波大	
			文科I類	文科II類	文科III類	理科I類	理科II類	理科III類										合計
21年	1	2	14	3	6	18	12	8	61	4	4	2	—	17	—	5	10	3
	3	2	15	4	9	19	16	8	71	4	5	3	—	18	—	7	10	3
22年	2	3	7	6	9	19	16	12	69	2	2	—	—	9	1	5	3	—
	2	4	10	6	10	20	18	13	77	2	2	—	—	11	1	6	8	2
23年	2	2	18	5	6	11	17	10	67	4	2	3	—	11	1	5	4	3
	4	4	19	5	6	12	19	11	72	6	5	4	—	12	1	7	4	3

	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大	国際基督教大	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	津田塾大	東京女子大	日本女子大	管外科学省学校所	海外の大学	国公立・医学部	私立・医学部
21年	132	80	56	32	5	4	31	5	13	17	—	—	—	1	10	9	47	105
	147	89	59	46	5	4	41	12	15	18	1	1	2	2	12	9	55	147
22年	117	93	37	61	1	—	32	12	5	19	10	1	2	1	10	1	41	65
	127	110	41	71	1	—	38	14	10	24	12	4	4	1	13	1	60	105
23年	119	78	47	49	2	1	30	20	7	30	5	2	11	8	9	1	48	96
	145	102	57	64	2	2	45	22	14	40	9	2	11	8	11	1	61	136

★指定校推薦枠(2023年度) 早稲田大5名、慶應義塾大1名、東京理科大1名、学習院大2名、中央大1名など

## 入試情報

### ■過去3年間の入試結果

	募集人員	応募者	受験者	合格者	実質倍率
21年	235	581	561	283	2.0
22年	235	557	534	282	1.9
23年	235	629	607	290	2.1

○配点: 算国=各100点 理社=各60点  
○合格最低点: 非公表

## 23年の募集要項

※以下は2023年の募集要項です。2024年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日/2月1日  
募集人員/女子235名  
合格発表/2月2日  
手続締切/2月3日  
試験科目/国語(50分・100点)、算数(50分・100点)、理科(30分・60点)、社会(30分・60点)  
面接/あり(グループ面接)  
受験料/25,000円

## 公開行事・説明会予定

【入試説明会】各回9時30分~ 要予約 土曜日は受験生本人も参加可  
11月 1日(水)5年生以上保護者対象  
11月 4日(土)5年生以上保護者対象  
11月 8日(水)4年生以下保護者対象  
11月11日(土)5年生以上保護者対象  
【個別相談会】要予約  
8月10日(木) 9時~  
8月11日(祝) 9時~  
【文化祭】要予約  
9月30日(土) 9時~16時  
10月 1日(日) 9時~15時30分  
◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

## サピックスOGの声

- 勉強ばかりしている生徒が多いという印象があるようですが、実際はそうではありません。学習に真面目にしっかり取り組む一方で、文化祭などの行事のときは、みんな夢中になって楽しむような雰囲気があります。自慢は人生経験豊富な先生方。さまざまな国に行ったことのある先生などいて、興味深い話をしてくれます。
- 礼法の授業で正しい姿勢や歩き方、お辞儀の仕方などを学んだことで、きれいな所作を心がけるようになりました。実技系の科目でも、音楽では声楽の教材を使って発声を学んだり、家庭科では編み物でマフラーなどの作品を作ったりと、本格的に取り組むものが多くあります。どの分野もプロ級にできる友だちがいるので、いつも驚かされています。
- 授業で特徴的なのは礼法ですが、国語に力を入れているのも桜蔭ならではの強みだと思います。文章を読んで問いに答える際には、グループワークで意見を出し合い、それをまとめて提出して、次の授業で発表するという流れで進みます。